

トキワ松学園中学校 国語

重要用語集

(中学受験編)

- その言葉のおおよその意味を知るところから始めましょう。
- 小学校で習っていない漢字もふくみます（ふりがながつきます）。
- 選択式の問題もあります。
- どのような問題が出るか、何問くらい出るか、点数などは公表していません。

◆押さえておきたいことわざ①

- 1 悪事千里を走る あくじせんり はし
- 2 朝（早）起きは三文の徳 あさはや おき は さんもん とく
- 3 頭隠して尻隠さず あたまかく しりかく
- 4 あぶはちとらず
- 5 雨降つて地固まる あめふ じかた
- 6 案ずるより産むが易い あん う やす
- 7 石の上にも三年 いし うえ さんねん
- 8 石橋をたたいて渡る いしばし わた
- 9 急がば回れ いそ まわ
- 10 一事が万事 いちじ ばんじ
- 11 一寸先は闇 いっすん さき やみ
- 12 一寸の虫にも五分の魂 いっすん むし ごぶ たましい
- 13 犬も歩けば棒にあたる いぬ ある ぼう
- 14 言わぬが花 いはな
- 15 魚心あれば水心 うおごころ みずごころ
- 16 うそから出た真 うそ 出た まこと
- 17 うそも方便 うそ ほうべん
- 18 馬の耳に念仏 うま みみ ねんぶつ
- 19 えびで鯛を釣る えび たい つ
- 20 鬼の目にも涙 おに め なみだ
- 21 帯に短したすきに長し おび みじか なが
- 22 風邪は万病のもと かぜ まんびょう
- 23 勝つてかぶとの緒をしめよ か 勝つて かぶとのお
- 24 壁に耳あり障子に目あり かべ みみ しょうじ め
- 25 果報は寝て待て かほう ね まて
- 26 亀の甲より年の功 かめ こう とし こう
- 27 枯れ木も山のにぎわい かき やま
- 28 木に竹をつぐ き たけ
- 29 けがの功名 けが こうみょう
- 30 光陰矢のごとし こういん や
- 31 後悔先に立たず こうかい さいき た
- 32 郷に入つては郷に従え ごう い つて は ごう したが
- 33 弘法にも筆の誤り こうぼう ふで あやま
- 34 転ばぬ先のつえ ころ さき
- 35 猿も木から落ちる さる き お
- 36 三人寄れば文殊の知恵 さんにん よもんじゆ ちえ
- 37 親しき仲にも礼儀あり した なか れいぎ
- 38 釈迦に説法 しゃか せつぽう
- 39 知らぬが仏 し ほとけ
- 40 正直は一生の宝 しょうじき いっしょう たから
- 41 好きこそ物の上手なれ すき もの じょうず
- 42 住めば都 す みやこ
- 43 背に腹はかえられぬ せ はら
- 44 船頭多くして船山に登る せんどう おお ふなやま のぼ
- 45 千里に道も一歩から せんり みち いっぽ
- 46 立つ鳥あとをにぎさず た とり
- 47 たで食う虫も好き好き たけ く むし すき
- 48 棚からぼた餅 たなもち
- 49 ちりも積もれば山となる ちり つ やま
- 50 月とすつぽん つき
- 51 月夜にちようちん つきよ
- 52 出る杭（くぎ）は打たれる で 杭（くぎ）は 打たれる
- 53 灯台下暗し とうだい もとくら
- 54 捕らぬ狸の皮算用 と たぬきかわざんよう
- 55 どんぐりの背比べ せいくら
- 56 飛んで火に入る夏の虫 と ひ い なつ むし
- 57 泣き面にはち な っつら
- 58 無くて七ヶ な な
- 59 情けは人のためならず なさけ ひと
- 60 七転び八起き ななころ やお

◆押さえておきたいことわざ②

- 61 習うより慣れろ なら 慣
- 62 二階から目薬 にかい めぐすり
- 63 二兎を追うものは一兎をも得ず にと お いっ と え
- 64 ぬかにくぎ
- 65 ぬれ手で粟 て あわ
- 66 猫に小判 ねこ こばん
- 67 能ある鷹は爪をかくす のう たか つめ
- 68 のど元過ぎれば熱さを忘れる もとす あつ わす
- 69 のれんに腕押し うでお
- 70 花より団子 はな だんご
- 71 人のうわさも七十五日 ひと しちじゅうごにち
- 72 人のふり見てわがふり直せ ひと み なお
- 73 人のふんどしですもうを取る ひと と
- 74 火のない所に煙は立たぬ ひ ところ けむり た
- 75 百聞は一見にしかず ひゃくぶんいつけん
- 76 ひょうたんから駒 こま
- 77 船に乗れば船頭任せ ふねの せんとう まか
- 78 へたの横好き よこず
- 79 仏の顔も三度 ほとけのおさんど
- 80 待てば海路の日和あり まち かいろ ひより
- 81 三つ子の魂百まで みご たましい ひやく
- 82 ミイラ取りがミイラになる と
- 83 昔取つた杵柄 むかしと きねづか
- 84 門前の小僧習わぬ経を読む もんぜん こぞうなら きょうよ
- 85 焼石に水 やけいし みず
- 86 やぶをつついて蛇を出す へび だ
- 87 弱い目にたたり目 よわめ
- 88 楽あれば苦あり らく
- 89 論語読みの論語知らず ろんごよ ろんごし
- 90 論より証拠 ろん しようこ

◆押さえておきたい慣用句

- | | | | | | |
|----|---------|----|-----------|----|-----------|
| 1 | 相づちを打つ | 31 | 脚光を浴びる | 61 | 取りも直さず |
| 2 | 味を占める | 32 | くぎをさす | 62 | 取るに足りない |
| 3 | 後の祭り | 33 | 軍配が上がる | 63 | ない袖は振れぬ |
| 4 | 脂が乗る | 34 | けりがつく | 64 | 涙にくれる |
| 5 | 油を売る | 35 | 気配をうかがう | 65 | 涙をのむ |
| 6 | 油をしぼる | 36 | 言葉じりをとらえる | 66 | 荷が重い |
| 7 | 泡を食う | 37 | 言葉に余る | 67 | 二の舞を演じる |
| 8 | 板につく | 38 | 言葉を尽くす | 68 | ねじを巻く |
| 9 | 一目をおく | 39 | 言葉を濁す | 69 | 音を上げる |
| 10 | 色を失う | 40 | さじを投げる | 70 | 花道を飾る |
| 11 | 裏をかく | 41 | 敷居が高い | 71 | 左前になる |
| 12 | えりを正す | 42 | 地獄で仏 | 72 | 一筋縄では行かない |
| 13 | 鬼に金棒 | 43 | しのぎをけずる | 73 | ひのき舞台をふむ |
| 14 | 尾ひれをつける | 44 | 白黒をつける | 74 | 火に油を注ぐ |
| 15 | 折り紙をつける | 45 | 図に乗る | 75 | 火の車 |
| 16 | 尾を引く | 46 | 隅に置けない | 76 | 火花を散らす |
| 17 | 影が薄い | 47 | 反りが合わない | 77 | 火ぶたを切る |
| 18 | 影を落とす | 48 | 太鼓判を押す | 78 | 棒に振る |
| 19 | 影をひそめる | 49 | 高みの見物 | 79 | 墓穴を掘る |
| 20 | かたずを飲む | 50 | たかをくくる | 80 | 水際に立つ |
| 21 | 角が立つ | 51 | 立つ瀬がない | 81 | 水に流す |
| 22 | かぶとを脱ぐ | 52 | 立て板に水 | 82 | 水の泡 |
| 23 | 空振りに終わる | 53 | 棚に上げる | 83 | 水を差す |
| 24 | 気が置けない | 54 | 知恵をしぼる | 84 | 水を向ける |
| 25 | 気が長い | 55 | 知恵をつける | 85 | 矢つぎばや |
| 26 | 気がひける | 56 | 竹馬の友 | 86 | 矢も盾もたまらない |
| 27 | 気に食わない | 57 | つじつまが合う | 87 | 山をかける |
| 28 | きまりが悪い | 58 | 峠を越す | 88 | 横車を押す |
| 29 | 気を配る | 59 | 土がつく | 89 | らちが明かない |
| 30 | 気を許す | 60 | 出る幕ではない | 90 | 渡りに船 |

◆押さえておきたい身体に関する慣用句

- | | | | | | |
|----|------------|----|-------------|----|----------|
| 1 | 目の当たり | 31 | 木で鼻をくくる | 61 | 手を打つ |
| 2 | 目がくらむ | 32 | 口車に乗る | 62 | 手を貸す |
| 3 | 目が高い | 33 | 大口をたたく | 63 | 手をこまねく |
| 4 | 目がない | 34 | 開いた口がふさがらない | 64 | 手を抜く |
| 5 | 目が回る | 35 | 舌を巻く | 65 | 手を焼く |
| 6 | 目先が利く | 36 | 顔が立つ | 66 | 腕が鳴る |
| 7 | 目と鼻の先 | 37 | 顔にどろをぬる | 67 | 腕によりをかける |
| 8 | 目に余る | 38 | 面の皮が厚い | 68 | 腕を上げる |
| 9 | 目に入れても痛くない | 39 | 頭が上がない | 69 | 腕を振るう |
| 10 | 目の色を変える | 40 | 頭がかたい | 70 | 腕を磨く |
| 11 | 目のかたきにする | 41 | 頭が下がる | 71 | 足が出る |
| 12 | 目もくれない | 42 | 頭をかかえる | 72 | 足を洗う |
| 13 | 目を皿にする | 43 | 首をかしげる | 73 | 足を引っぱる |
| 14 | 目を通す | 44 | 首を長くする | 74 | 足を棒にする |
| 15 | 目を光らす | 45 | 奥歯にものがはさまる | 75 | きびすを返す |
| 16 | 目を引く | 46 | 歯が浮く | 76 | 肩で風を切る |
| 17 | 目を丸くする | 47 | 歯が立たない | 77 | 肩の荷が下りる |
| 18 | 耳が痛い | 48 | 歯がゆい | 78 | 肩を並べる |
| 19 | 耳にたこができる | 49 | 歯に衣着せぬ | 79 | 肝がすわる |
| 20 | 耳を疑う | 50 | のどから手が出る | 80 | 肝に銘じる |
| 21 | 耳を貸す | 51 | 眉につばをぬる | 81 | 肝を冷やす |
| 22 | 耳を澄ます | 52 | 胸がおどる | 82 | 尻に火がつく |
| 23 | 耳をそろえる | 53 | 胸がすく | 83 | 尻をぬぐう |
| 24 | 小耳にはさむ | 54 | 胸を打つ | 84 | 腹が黒い |
| 25 | 鼻が高い | 55 | 胸をなでおろす | 85 | 腹をさぐる |
| 26 | 鼻で笑う | 56 | 胸をはずませる | 86 | 腹を割る |
| 27 | 鼻にかける | 57 | 胸を張る | 87 | へそで茶をわかす |
| 28 | 鼻もちならない | 58 | 手がつけられない | 88 | 骨が折れる |
| 29 | 鼻を明かす | 59 | 手に汗にぎる | 89 | 身の毛がよだつ |
| 30 | 鼻を折る | 60 | 手のひらを返す | 90 | 身を粉にする |

◆押さえておきたい四字熟語（中学受験）

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
我田引水	花鳥風月	快刀乱麻	温故知新	榮枯盛衰	海千山千	右往左往	有為転変	意味深長	威风堂々	一刀両断	一石二鳥	一心不乱	一進一退	一触即発	一挙両得	一喜一憂	一網打尽	一望千里	一部始終	一念発起	一日千秋	一字千金	一期一会	一意専心	以心伝心	異口同音	意气投合	意气消沈	悪戦苦闘
60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
質疑応答	七転八倒	自業自得	試行錯誤	自給自足	四苦八苦	自画自賛	山紫水明	三寒四温	才色兼备	言語道断	五里霧中	古今東西	公明正大	公平無私	巧言令色	厚顔無恥	行雲流水	月下冰人	空前絶後	興味津津	驚天動地	急転直下	旧態依然	奇想天外	疑心暗鬼	起承転結	起死回生	危機一髪	完全無欠
90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61
朝令暮改	朝三暮四	单刀直入	大同小異	大胆不敵	泰然自若	大器晚成	創意工夫	千变万化	前代未聞	千差万别	絶体絶命	青天白日	晴耕雨読	森羅万象	針小棒大	神出鬼没	心機一転	支離滅裂	諸行無常	枝葉末節	盛者必衰	首尾一貫	取捨選択	自由自在	縦横無尽	弱肉強食	自問自答	四面楚歌	質実剛健
120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91
臨機応変	理路整然	竜頭蛇尾	羊頭狗肉	用意周到	油断大敵	有名無実	唯我独尊	唯一無二	無味乾燥	無我夢中	本末転倒	暴饮暴食	平身低頭	付和雷同	不即不离	不言実行	不易流行	百鬼夜行	半信半疑	馬耳東風	日進月歩	二束三文	二者択一	天変地異	天災地変	電光石火	天衣無縫	徹頭徹尾	適材適所